

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスTODAY'S TAKASAKI			公表日	2025年 2月 17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	令和6年度2月から引っ越しをし、新しい場所では高学年の児童が手狭になってしまう。	活動を分散させ、環境の工夫をしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	男性スタッフも増え、同性介助も出来ている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	玄関に段差あり。 危険な箇所はスタッフが補助をして支援を行っている。	室内、2階階段昇降は児童と一緒に職員が付き添い支援を行っている。 一階の一部屋にエアコンが無く、夏季・冬季共に活動に不便になっているのでエアコンの設置を希望。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	活動終了後に消毒を行い、空気清浄機を活用して清潔を意識している。 子供に合わせて、仮眠が必要な児童には仮眠が取れるような環境を作っている。 個々の活動が出来るようにスペースを確保し、室内・屋外で活動を行っている。	曜日を決めて、空気清浄機の洗浄や車の消毒を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	用途に合わせて、休憩場所・学習室・更衣室など、個別の部屋を提供している。 必要な場合には、職員が視界に入る様にして使用している。 仮眠が必要な児童や、微細運動等を行う事が出来るようテーブルを置き、行っている。	部屋によっては、温度調整出来ない場所があるので、今後、設備環境を整える。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	利用児童が何を楽しみにしているのか？どんな活動を今後、取り入れて欲しいか？の項目も増やしてアンケート調査に記入をお願いしてもらおう。	利用児童が何を楽しみにしているのか？どんな活動を今後、取り入れて欲しいか？を回答を参考に、次年度の活動に反映している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	活動の前の時間を利用して、職員の意見を把握している。 活動前や送迎後に会議や情報共有等行っている。 朝のミーティングや送迎後に意見を伝える場があり、業務内容の向上を図っている。	細かい点の業務改善を図っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		外部の方との日程調整を工夫したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	オンライン研修を活用。 様々な研修に取り組むことが出来た。	年に一回（株）スプラボとして研修を行っているが、内容を充実させていく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		ホームページを再開したので、去年より公開している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	アセスメント前におたよりで最近の様子や困っていることを記入してもらい、事前に状況把握したうえでアセスメントを実施、個別支援計画に反映している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員に担当児童を決めて、複数の職員で子どもの支援を考えている。 計画を作る際に会議を行い、情報共有や意見交換を行って共通の理解の下で行っている。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	メインの活動場所に最新の個別支援計画の内容を掲示しており、職員全体で周知できるようにしている。 共有を行い、個々の支援に合わせて支援が出来るようにボードを使い、掲示している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	SSTカードを活用し、挨拶の会の時に勉強している。	各児童のソーシャルスキルの把握状況を観察している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個別支援計画の同意をいただくときに、保護者に説明を行い、今必要な支援を話し合いながら設定している。 放課後等デイサービスガイドラインに沿った内容である事を前提に、保護者や利用児のこうあって欲しい姿を目標に、支援方法を設定している。支援中に目標としていた内容が達成できるもので、自立に向けた内容で項目ごとで計画している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	日々のスケジュールや祝日の内容をスタッフ全員で立案、検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	季節の製作やお出かけの企画を行っている。	学校の様子や児童のコンディションに合わせて実施している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	子どもの状況によって日々のスケジュールを変更したり、スタッフの役割分担をLINEを活用して計画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援開始前に今日のスケジュールをスタッフで打ち合わせ、ホワイトボードやLINEを活用している。	急な変更の時もLINEを活用して行えた。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後に活動の振り返り、児童の様子、送迎時の申し送り等の共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	その日のうちに記録を行い、翌日に支援内容の検討、改善点について話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	児童の変化に合わせて、その都度話し合いを行い、3か月に一回のペースでモニタリングを行い状況を把握している。	
関係機	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		地域活動ができる環境を検討したい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	挨拶の会に時に、自分の名前・自分の今日の調子を考えて、報告できるカードを使用して毎回答えてもらっている。 製作物やおやつ作り等で本人が選択して、本人の意思で行動出来るような声掛けを行っている。 スモールステップで達成できるものから、段階を踏んで自己決定する力や自己肯定する力を大切に考え、支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	個別支援計画を作成している児童発達管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	日常的に医療ケアの必要な児童は現在いない。	必要性が出来た時には連絡体制を整える。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	電話や連絡帳等で保護者との情報共有を行い児童の担任とも週の予定の情報共有をしている。	スタッフ間での確認、ダブルチェックをしてミスのないように努めている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	相談員を介して情報共有をしている。必要に応じて新規利用者は、それ以前に利用していた事業所や児童発達に見学に行き、情報共有をしている。	

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	卒業生が卒業後に利用する事業所や相談員より希望があった時は、情報共有を行った。今年度も要望があれば対応予定。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	研修の情報が届いた時には必要に応じて参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	4	コロナ以降、なかなか交流の機会が減少している。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	まだ、参加まで至っていない。	参加できるよう情報収集を行っている。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎の時や面談の時に話し合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	保護者からのニーズがあれば相談員や関係機関に繋がられるように情報収集を行っている。	今後、研修会を検討している。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	変更部分を丁寧に説明したうえで再度、契約することに努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	アンケートを取りながら、保護者・子どもの意向を確認している。 送迎や面談で、保護者の意見を聞き、利用している児童には活動中に聞き、反映させている。	日々の連絡ノートにも記載をお願いして、役立てている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	おたよりを活用して説明。理解を促している。 ねらいや内容、支援中に気を付けたい事などを細かく説明し、同意のサインを得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	助言まではいかなくとも、保護者の話に傾聴し一緒に対応方法を考えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	秋にBBQを開催し、2事業所の保護者の交流・支援を実施した。	保護者の認識が低いので、元分かりやすい内容での開催を検討したい。 BBQを開催したが、交流会と感じている保護者は少なかったので検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	玄関の目立つ場所に苦情箱の設置している。	送迎時等でアドバイス頂いた内容は改善に努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	おたよりを作成して配布している。	今後はLINEを活用して発信を予定している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	日々、各職員が十分配慮して支援を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	口頭や紙ベース等、複数回情報提供を行い、保護者のニーズに合わせて提供している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	コロナ以降、招待する行事は企画していない。	今後、検討したい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	年に3回、避難訓練(火災・地震・不審者)を行っている。	今後、家族への周知を高めていきたい。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	今年度よりスタート。	始めたばかりなので、改善しながらBCPに取り組んでいる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	子どもと保護者から依頼を受けて、状況の把握に努めている。 保護者との契約時や面談・送迎・連絡ノートで子どもの状況把握を行っている。	急な症状の時も、事前に把握に努めている。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者全員より、利用児童のアレルギー確認を行い、スタッフ全員で周知している。	医師の指示書までの対応は行っていないので今後、検討したい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	年に1回（株）スプラボとして研修を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	災害の時の引渡しカードなど、取り組み内容を説明している。 もしもの時に備えて、保護者の方とすぐに連絡が取れるよう連絡先の共有、予測されたことに対して対応できる様に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	毎月一回、ヒヤリハットの会議を行い、スタッフ全員で対策案を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	年に一回（株）スプラボとして研修を行っている。 出前講座を行い、研修を受けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	その都度、身体拘束経過観察記録を行い、年に一回の研修と年に三回の身体拘束経過観察についての会議を行って改善に向けて話し合う。さらに、個別支援計画にも記載して説明、報告を行っている。	